八百津町告示第２号の２

　　　パブリックコメントの回答について

住民の方から寄せられた意見の概要とそれに対する町の考え方及び最終案は下記のとおりです。

　平成２７年３月２０日

八百津町長　赤塚新吾

（１）　募集案件　　第５次八百津町行財政改革大綱の策定にかかる意見の募集について

（２）　募集期間　　平成２７年１月７日～平成２７年２月５日

（３）　意見提出数　３件

|  |  |
| --- | --- |
| 意見の概要 | 意見に対する考え方 |
| 近隣で原発事故が発生した場合に対応できるヨード剤を準備してください。 | 岐阜県が策定した原子力災害に係る岐阜県・市町村広域避難方針で、安定ヨウ素剤の配布・服用等の防護措置に係る基本的な考え方、県や県内市町村の役割、事前準備しておくべき内容、並びに緊急時に実施すべき事項等が定めてあります。この方針に定められた安定ヨウ素剤の配布・服用は、緊急時防護措置を準備する区域(岐阜県では揖斐川町の一部)と対策強化地域のうち甲状腺等価線量50mSv/週以上となる可能性が示された地域(岐阜県では大垣市、垂井町、関ヶ原町、揖斐川町)となっています。この方針により、当町では安定ヨウ素剤を備蓄しておりません。万一、被災市町村となり安定ヨウ素剤が必要となった場合は、備蓄している岐阜県または他県からの配布協力を得ることになります。また、処方箋が無い限り個人での購入はできません。 |
| 図書館（室）の蔵書目録をオンライン化してください。 | 住民の方の図書室利便性向上を図るため、２年前に自宅からインターネットによる図書室（各出張所を含む）の蔵書の検索、予約を行うためのシステム導入を検討いたしましたが、７００万円以上の経費が見込まれたため、町財政の厳しい状況を踏まえ導入を見送りました。　現在は、町HPにて毎月１０日前後に前月に購入した新着図書一覧を掲載いたしております。また、図書室の土足立入りを解禁し、今まで購入していなかった雑誌を置いたり、キッズスペースを確保したりと、限られた予算の中で少しずつではありますが、住民の方が快適に図書室を利用できるように環境改善に努めております。　ご不便をお掛けして申し訳ありませんが、今後も利用者の方のご協力を得ながら更なる図書室の利便性向上を推進して参りますのでご理解をお願い申し上げます。 また、今後図書館の新築等計画しましたら、併せてシステム導入を予定させていただきます。 |
| 里山ならではの、地球環境に負担をかけず、再生可能エネルギーを活用する小水力発電事業に力を入れてください。 | 小水力発電については、平成25年に農業ため池で実施できないか可能性を検討しました。この発電所は年間可能発電電力量95,374kWhで、約9世帯の年間の家庭から排出する二酸化炭素を抑制することができます。しかし、減価償却費を除いた年間収支だけでも、約190万円の赤字が毎年続くため、採算的に厳しい結果でした。水力発電は発電能力の割に、設備費と維持管理費が高くなることが難点です。また、近年のようなゲリラ豪雨などで発電量に影響する水量の変動が激しく、それに比例して水路などを流れてくる木の枝や枯葉などの量が多くなり、取り除く手間も多くかかってしまいます。貴殿が意見いただいたように、小水力発電では雇用が生まれてきますが、製造業などのように多くの雇用は見込めません。電気が届いていないなどライフラインに支障がある場合を除いて、現時点での町の財政状況では、小水力発電に投資することは難しい状況です。 |

（４）最終案　　別添